運行を試行。登録者が百人を超えました。

●高齢者世帯や障がい者世帯に対する除雪サービスは、十一月末までに申請のあった三十二世帯に対し、除雪サービスの決定を行いました。

▽保健・医療関係

●十一月二十日・二十一日、本年度最後の特定健診とがん検診を実施しました。

●高齢者に対するインフルエンザの定期予防接種助成は、村広報十月号で周知を図っていますが、今後流行が予想されることから、多くの方が接種されるよう望むものであります。

●十二月二日、保健センターで「糖尿病、何がそんなに怖いのか?」と題して北海道医療大学の高橋先生を講師に糖尿病講演会を行いました。

▽農業関係

●本村の水稲作付実績は二千三百二十六㌶で転作率は五十一・五六㌫となりました。

●ライスファクトリーでの米の受入状況は一万四千百㌧、製品としては約十七万一千俵と見込まれています。

●経営所得安定対策の交付金は、「米の直接支払交付金」が対象面積二千三百二十五㌶に対して十㌃当たり一万五千円、村全体としては三億四千九百九十一万四千円となりました。

また、転作作物を対象とした「水田活用の直接支払交付金」は「産地資金」を含め、十億一千五百二十七万五千円となり、米の直接支払交付金と合せて十三億六千五百十八万九千円が十一月十九日に直接、国から農業者に全額交付されました。

●今年で3年目となるグリーンツーリズムは、五月二十日の札幌の中学生の日帰り農家体験を皮切りに十月十日の兵庫県の修学旅行の高校生まで、十六回、のべ農家五十一戸で合計六百五十人の生徒を受け入れました。

協力して頂いた農家の皆さんには感謝を申し上げ、引き続き来年度もご協力を頂きたくお願い申し上げます。

●「農地・水保全管理支払交付金」の「共同活動支援交付金」は、共同活動支援は村全体で約四千九百九十七㌶、支援総額は、約一億二千五百二十九万九千円（内、村負担三千百三十二万四千円）の計画となっています。

●十二月四日、「国営事業篠津中央二期地区」の石狩川頭首工通水式が行われ、出席しました。平成七年の事業着手以来、十八年の歳月と五百十億円もの巨費を投じて、このたび、通水されました。新しくなった頭首工からの安定した用水確保が計られることにより、地域農業の振興に大きく寄与するものと考えています。

▽建設工事関係

●今年度発注予定の道路舗装工事、施設営繕工事は、すべての工事が予定工期内に完成しています。

●十月二十九日、村道及び公共施設の除排雪委託業務を発注しています。

教育行政報告

教育長　蜂屋寿雄

▽教育行政関係

●十月十八日、石狩市で管内教育委員研修会が開催され、本村からは教育委員全員が参加いたしました。

▽小学校関係

●十月二十六日、新篠津小学校で第三十六回学芸会が行われました。子ども達は練習の成果を十分に発揮し、感動した観衆から惜しみない拍手をもらっていました。

●十一月十四日、明年入学予定の男子九名と女子十四名の計二十三名が、小学校で「発達検査」と「就学時健康診断」を行い、学校行事の紹介や学校内の見学をしました。

▽中学校関係

●九月二十八日、新篠津中学校で第四十七回学校祭が開催されました。

壁新聞や絵画の展示部門の制作、合唱や演劇などの発表部門の練習を精力的に行った成果が発揮され、立派な学校祭となりました。

▽高等養護学校関係

●十一月十五日・十六日、新篠津高等養護学校で、新高祭が行われました。

▽給食センター関係

●十二月三日、ＪＡ新しのつより学校給食センターへ新米「田楽福（ＹＥＳ！ｃｒｅａｎ米ななつぼし）３百kgが贈呈されました。

●十二月五日、給食センター五十周年を記念した「学校給食センター開設五十周年を祝う会」が、たっぷの湯研修室で開催され、来賓や関係者ら五十人が出席しました。

▽社会教育関係

●十一月一日から三日、「新篠津村総合文化祭」を開催し、保育所園児から小学校・中学校・高等養護学校、そして村民一般の作品を展示しました。

三日間で述べ八百三十七人の方々が鑑賞されました。

●十一月九日から十日、村青年リーダー研修が遠軽町と北見市において実施され、本村から九名の青年が参加。

●十一月五日、小学生の子どもたちと高齢者のふれあいを深め、お年寄りの知識や技能を伝承する「ふれあい塾」の閉校式が行われました。今年は、六月五日に開校し、年八回開催をしました。閉校式ではふれあい塾の感想を子ども達が発表し、明年の再会を約束しました。

●十一月二十三日、第六十九回青年団弁論大会が開催されました。青年六名の弁士が自らの体験談や日ごろの思いなどを発表しました。

●十月三日より十二回の開催予定で、「健康づくりスポーツ教室」を実施。冬期間の運動不足解消のためにも参加を期待しているところです。